

売上と売上に関する仕訳

練習問題

問1：商品100円を売り上げ、代金は現金で受け取った。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問2：商品120円を売り上げ、代金は掛けとした。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問3：売掛金120円を現金で回収した。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問4：掛けで売り上げた商品のうち、60円分が品違いにより返品された。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問5：掛けで売り上げた商品に汚れがあったため、40円の値引きに応じた。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問6：商品400円を掛けで売り上げ、当店負担の運賃20円は現金で支払った。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問7：商品600円を掛けで売り上げた。その際、先方負担の運賃・保険料50円を現金で支払った。立替金勘定を用いない方法で処理している。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

解答解説

問 1

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
現金		100		売上		100	

三分法の場合、商品を売り上げたときは、売上（収益）で処理します。

問 2

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
売掛金		120		売上		120	

掛けで売り上げたときの掛け代金は、売掛金（資産）で処理します。

問 3

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
現金		120		売掛金		120	

売掛金を回収しているのので、売掛金の減少で処理します。

問 4

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
売上		60		売掛金		60	

返品を受けた場合、将来金銭を受け取れる権利である売掛金が減少する逆仕訳を行う。

問 5

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
売上		40		売掛金		40	

値引きを受けた場合も、問 4 と同じ逆仕訳を行う。

問 6

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
売掛金		400		売上		400	
発送費		20		現金		20	

当店が負担する販売諸掛り（運賃など）は発送費（費用）で処理します。売上が収益に対して、発送費は費用なので、仕入のように売上に含める事はできません。

問 7

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
売掛金		650		売上		600	
				現金		50	

先方が負担する販売諸掛りは立替金（資産）または売掛金（資産）で処理します。